カニコーセンの中津の思い出 03

どうなんでしょうね、家庭を持つってことは、私たち人類にとって幸なのか不幸なのか、人類とかって、また括りを大きく広げちゃうから、解り辛くしちゃうから、ついつい癖で、じゃあ例えば私にとってどうかと考えると、こんな制度早く無くなっちまえばいいのになって、思うてます、今。人間の闇を深くするだけでっせ、ほんに。あー、ガソリン巻いて焼いちまいてぇー、無かったことにしてぇー、では、そんな気分の源流を辿る旅にでましょう、中津鬱々散歩、始まりです。
金沢の実家で嫁さんのお母さんから結婚の申し出があり、こうゆうんで配偶者になるもん同志が、橋の上や、噴水の前で抱きしめ合いながら、ロマンチな感じで、結婚に対するお互いの気持を確かめ合ったり、意見交換するもんだとばっかり思うてましたが、実際は嫁の実家のちゃぶ台の前で、第三者、立ち会い人を通じて滞りなく行われるもんだなんてね、人生ってホントその場その場の積み重ねなんですってね。金沢のお母さんからの申し出に、仕事がどうのこうの、貯金や借金がどうのこうのとマゴマゴしながら時間を30秒ほど潰す私の態度に、ピシャリ、平手打ちを喰らわす勢いで、お母さん「あんたが一人前になんのん待ってる暇はないねん！いつなんねん？一人前に？」とまぁ、こんな感じ。もう、二人の愛が永遠にとか、玉姫殿とか、そうゆうハナシじゃなく、半ば脅しもありぃの、強行採決。結果まぁ、強行してくれる人＆資金援助してくれる人が居ないと、20代半ばの阿呆うフリーターには結婚なんて取り扱い出来なくて、まぁお母さんの勢いに一瞬オタオタしました私ですが、何となくこの人に任しておけば、私の人生も何とかしてくれんじゃないかなぁ、、なんて期待したりもして、ほんで一応は、はい、可決ということで、その後はビールを飲み、そして金沢観光に連れていってもらうわけです。

ライブのお知らせ

■ 7/28火 梅田HARDRAIN

■ 7/29水 扇町para-dice

■ 8 / 7金 北堀江ポーポー屋
AZUMI / カニコーセン
開店18時半 / 開演19時半
予約2000円 / 当日2500円 要注文

■ 8 / 8金【HOT MOTTO GUMBO'15】
カンテグランデうつぼ公園店
あうんさん・すうじぃ / 伊藤せい子
瓜破連歌ショー / 小野一穂
岡地曙裕・長見順DUO / カニコーセン
桜川春子asレミーマルタン
高木まひこ / 寺町ヨーコ
松井洋介 / 山川のりを / ユダ
良元優作 / リー・ルード
14時半頃 / 1000円と呑み2杯

カニコーセンブログ・その他
http://kanikoosen.exblog.jp/

ナツキいぬコのLV.27～日常編

魅惑の第７回！ てんちょうの

ファンシー❀コラム

今年は梅雨っぽさのない年だったなぁと思う。

５月末に毎年電車の忘れ物市というのが天神橋でやっていて、色々なものが売っているのだけれどやっぱり電車で一番の忘れ物と言えばぶっちぎりで傘なのだそうだ。中にはブランドものの傘もちらほら売っていた。

ブランドものの傘は買わなかったが、透明の使い捨て傘しか持っていなかったため、もっと雨の日を楽しめるようにとおしゃれな傘を買った。

早く雨が降らないかなと雨の日が待ち遠しくなって、ふと小学校１年生のときの梅雨の季節を思い出した……

当時僕は入学直後のバタバタがやっと落ち着いてきた頃で、近所に住んでいた宗たんと長谷部みよちゃんとよく遊んだり、一緒に下校したりしていた。

ぼくの家と学校は目と鼻の先にあり５分も歩けば余裕で着く。マンションの9階に住んでいて、そこから校舎が見えるくらい近いので、ここに長い滑り台作って、毎日通学できたらいいのになぁと思っていた。そんな短い帰路だが、一角田んぼになっているところがあり、そこがみよちゃんと宗たんとの待ち合わせ場所になっていた。

ある梅雨の日の登校中、ぼくはそこで２人を待っていた。少し早く出てしまったのでぼーっと田んぼを見ていたのだが、雨の日だったので、小さいアマガエルがいっぱい出て来て大合唱していた。それがすごくかわいくて、僕は雨が降っているにも関わらず傘をたたんで、傘で蛙をつついて遊んでいた。すると後ろから「何してるの？」と声をかけられた。あ、同じクラスの「カワサキ」さんだ。字がうまくて頭がいい。

容姿端麗というか大人びていて、眼鏡をかけていて物静かな、とても小学１年生に見えない子だった。「蛙かわいいね。」といいながら一緒の傘に入れてくれた。多分あれが人生初の相合傘だったと思う。

その日は登校中ということもありすぐ行ってしまったのだが、その出会いが一目惚れになり、僕は雨の日を心待ちにした。で、雨が降ったら帰り道に、友達に先に帰ってもらい一人で雨に濡れながらずっと蛙をつっついていた。１度うまく帰り道にみつけてくれて「また蛙見てるんだ。好きなんだね」と言われたのを覚えている。

だけど6月のある日カワサキさんは引っ越しすることになった。

せめてそれまでにもう一回一緒に蛙をみたいなとおもったけど、どうも学校が終わったらすぐ帰ってしまうみたいで、それ以降一緒に見ることも話をすることもなかった。

１年生の１学期しか一緒じゃなかったけど、今でも覚えてる。

今は何してるんだろうな。

シカクオンラインショップのメルマガ いつでも購読募集中！

シカクに入荷した商品の最新情報やじんわりくるコラムなどを隔週金曜でお届けする、シカクオンラインショップメルマガの購読いつでも募集中！編集長は3月からシカクのCD・音楽担当を任命されたほか、フリーライター、バンドマン、酒飲みなど様々な肩書きを持つスズキナオさん。今すぐ登録してサブカルなのになんかゆるい絶妙な空気を吸収し、荒んだ心を癒そう！

登録方法

①シカクオンラインショップにアクセス（検索してね）
②ページ上部のメニューから「メールマガジン」を選ぶ
③メールアドレスを入力して「登録」を押す
④金曜まで待つ

執筆者紹介

みんな日頃から何かしらの活動をしている人ばかりなので、気になった人がいたらチェックしてみてね。

物干竿之介
東京・高円寺在住。カタハバワークス代表。2010 年頃からフリーペーパー『So not A !!』を不定期刊行。短編漫画の執筆や雑貨作りも行う。バンド余命百年のデザイン担当。夏限定で物干・T・シャツ雄に名前を切替中。秋ごろにカタハバワークスで初の展示をやります！

ナツキいぬコ
「チュンチュンガオピッピ」という名前でコミティアを中心に漫画を発表しています。現在は「きんのきつつきの、」というタイトルの動物中学生 の不条理漫画をシリーズで描いています。
http://ccgp.main.jp

奈良絵里子
1986 年生。てんびん座。引っ越しばかりの人生で最近は兵庫県民。短歌も好きだがパンも好き。

巴大樹
シカク店長。たまに音楽をやったりもしてます。なか卯の180円の冷やしそばがおいしすぎることに気付いて週1で食べてます。

しらきたかね
天満でたこ焼き屋を営む。また、無類のジャズ好きが高じて、新進気鋭の音楽ライターとしても多方面で活動している。関西ジャズ無料情報誌『WAY OUT WEST』でトラッド・ジャズに関するコラムを絶賛連載中。座右の銘は創造と啓蒙。

カニコーセン
朝しか歯を磨かない系旦那と、他人のことはつべこべ言わない系嫁からなる、加古川の夫婦フォークユニット。「播州スラッジフォーク」と銘打ってブログと路上呑みの明け暮れ。自宅の洗面所で録音した29曲入りのCDRがAERAいう雑誌で紹介されて喜んでる系フォークです。実家の両親に軽四を買ってもらいました。

たけしげみゆき
シカクの書籍担当・副店主。漫画を描いたり、生きていくためにデザインの仕事をしたりもしている。カナヅチなのに沖縄でダイビングをし、何とか生還したものの死ぬ程怖かったのでもうやりません。魚はかわいかったです。

物干竿之介のご自由にお持ち帰り下さい 第３回

@toumin_boy

物干竿之介が気になったことを書き綴るコーナーになります。お気軽にご覧くださいね。

文と絵 物干竿之介

特集！ ステイショングラフィックス

毎日暑いでやんすね。物干竿之助あらため物干・T・シャツ雄でございます。リスペクトF先生。今月は駅にたびたび現れる謎のポスター、通称「ステイショングラフィックス」についてお届けします。

説明しよう！ステイショングラフィックスとは…公式に鉄道会社で作られているポスターではなく、駅員さんがおそらくエクセルなどで苦心して作成した駅の案内表示や注意喚起のポスターを指します。有名所で言うと修悦体というガムテープ文字で案内表示を作った佐藤修悦さん（この方は駅員ではなく警備員さんですが）などが挙げられますが、さらにアノニマスな作品をご紹介しようと思います。図１をご覧下さい。エクセルで作られたと思われる現在地から入口までの案内表示です。この大胆な矢印！そして無骨な立体感！たまらないフォルムですね。矢印と建物と文字が渾然一体となって我々に行き先を示してくれています。横山裕一氏の漫画に通ずるモダンさも感じ取られます。次を見ていきましょう。図２はよくあるエクセルなどではなく、おそらくAdobe製のイラストレーターを使って作られたポスターです。人物のラインの力強い筆致に目を奪われます。危険な様子がとても伝わりますね。太古の壁画をも彷彿とさせます。最後の図３は改修工事が行われている駅構内にステンシル技法で示された朝と夜の境目です。もはや現代アート！図には一つしか載せていませんがこれが大量に地面に刷られていました。

いかがだったでしょうか。時には駅構内でウロウロしてみるのもまた一興。通勤が楽しみになりますね。それでは、また来月！（于）

今月のトピック
最近たくさんデザインの仕事が舞い込んできて嬉しい悲鳴です。来月は告知のコーナーを作るかもしれません。毎月シカクのネタを考えている時が幸せです。大阪行きたい！！

ナナちゃんは 8月で３歳

End

奈良さんの短歌と周辺　第七回

ともだちは縁でなるもの道をゆく夫婦はきっと意志でなるもの

（奈良絵里子）

短歌を趣味にしている人たちは雅（みやび）なので、メールの文末に短歌を添えたりとか、誕生日に短歌をプレゼントするなんていう「行事」が発生することがたまにあるんですけど、最近自分のまわりで多いのが、短歌のコミュニティの中で結婚した二人（タンカップル）に、お祝いの短歌を寄せ書きのようにして送ることです。ふつうに、結婚おめでとうみたいな内容の短歌もあるんですけど、それだと大勢で寄せ書きしたときに雰囲気が重なってしまうことがあるし、何より「その二人へ向けた」という特別さを表すために、「折り句」という作り方がされることがあります。要はあいうえお作文みたいなことで、二人の名前の文字を歌の中に折り込むんです。

結婚はご縁だ、っていう言い方をよく見かけます。それはすごくわかる部分もあるんだけど、わたしは、もう少し「意志」の入ったものであってほしい、っていう願望があるんだよなあ。縁も偶然もタイミングも、もちろんあるんだけど、やっぱり決断したのは自分（たち）だし、「そうしたい、そうしよう」と思ったことに価値があると思う。思いたい。ご本人たちがどう思っているかは、わかりませんが。ご結婚、おめでとうございます。